発表題目

―副題―

English Title:

English Subtitle

○多文化太郎（多文化大学）Taro Tabunka (JSMR University)

関係次郎（関係研究所）Jiro Kankei (Institute for Kankei)

**はじめに**

はじめにはじめにはじめにはじめにはじめにはじめにはじめにはじめにはじめにはじめにはじめにはじめにはじめにはじめにはじめにはじめに。はじめにはじめにはじめにはじめにはじめにはじめにはじめにはじめにはじめにはじめに。

はじめにはじめにはじめにはじめにはじめにはじめにはじめにはじめにはじめにはじめにはじめにはじめに。はじめにはじめにはじめにはじめにはじめに。

**方法**

**調査対象者（データ）**　調査対象者（データ）調査対象者（データ）。調査対象者（データ）調査対象者（データ）調査対象者（データ）調査対象者（データ）調査対象者（データ）。調査対象者（データ）調査対象者（データ）調査対象者（データ）調査対象者（データ）。調査対象者（データ）調査対象者（データ）調査対象者（データ）調査対象者（データ）。

**手続き**　手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き。手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き。

Table 1

Summary of descriptive statistics for eight cognitive tasks（*N*＝ 96）



**結果**

結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果。結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果。



Figure 1

A difference between Boolean approach and a statistical method

結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果。結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果。

**考察**

考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察。考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察。考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察。

引用文献

American Psychological Association（2004）. APA topic: ADHD. American Psychological Association <http://www.apa.org/topics/topic\_adhd.html>（February 25, 2004）

Hebb, D. O.（1972）. Textbook of psychology. 3rd ed. Philadelphia: Saunders.

（ヘッブD. O. 白井常・鹿取廣人・金城辰夫・今村護郎（訳）（1975）．行動学入門　第3版　紀伊国屋書店）

Hilgard, E. R., & Bower, G. H.（1975）. *Theories of learning*. 4th ed. Englewood Cliffs, N. J.: Prentice Hall.

日本心理学会（2004）．事務局からのおしらせ　日本心理学会　2004 年2 月13 日

 <http://wwwsoc.nii.ac.jp/cgi-bin/jpa/minibbs.cgi?log=log1>（2004年2 月25日）

Novik, L.（1988）. Analogical transfer, problem similarity, and expertise. *Journal of Experimental Psychology: Learning, Memory, and Cognition*, 14, 510-520.

小川時洋･門地里絵･菊谷麻美･鈴木直人（2000）．一般感情尺度の作成　心理学研究, 71, 241-246. （Ogawa, T., Monchi, R., Kikuya, M., & Suzuki, N. (2000). Development of the General Affect Scales. Japanese Journal of Psychology, 71, 241-246.)

豊田秀樹（1992）. SAS による共分散構造分析　東京大学出版会

（Toyoda, H.（1992）. *Covariance structure analysis with SA*S. Tokyo: University of Tokyo Press.）